

「自己紹介 No.9 中村 泉」

クラブ管理運営委員会 副委員長 中村 泉

何から書いていいものか、迷いながら書いてしまいました。お許ください。

正直言って私は、泉という名前が好きです。小学生の頃は女性みたいだと作文を書き両親を困らせていましたが、今では誰にでもすぐ覚えていただける名でとてもありがたいと思っています。

高校卒業後、大学受験に失敗して今後の自分を模索していた頃、自分は親元にいるべきではないと思い、東京の予備校に通いました。親からの援助はうけず、新聞奨学生として吉祥寺の商店街を、朝夕配達しました。仕事は正確におこないましたが、自分にあまえて勉強は不十分な為、2回目の大学受験も失敗して悩んでいる頃、母親が小脳出血で倒れ帰郷。昼は自分が看病、夜は父と交代の病院生活を半年ほどしました。母は、私を息子と理解出来ないこと身体が半身不随の看病生活はとてもつらい日々でしたが、しかし父の作ったおにぎりだけは食べてくれ、夫婦の絆に涙した事を覚えています。その後、アルバイト等で自分は専門学校卒業後、今の勤務先、日本モレックス合同会社(当時は株式会社)に入社、商品は主にコネクタ関係です。本社(神奈川県)の金型部品製造部に配属、研削加工業務を1年半、母の他界にて帰郷、そのまま同業種を17年、3年前からプレス金型業務に従事しています。

帰郷して間もない頃、先輩から誘われ、串良ローターアクトクラブに入会し、当時はあまりイベントに参加していなかったのですが、鹿屋にて地区の年次大会を行う為、協力、参加する事になりました。各クラブからアクト旗を預かり、掲げていたのですが、野外で行なった為、風になびいて川内ローターアクトクラブのアクト旗が外れかけているのを修正しようと思い、手を出したところ、破ってしまう問題をおこしてしまいました。後日、川内ローターアクトの例会に、片道3時間、弁償金持参でかなり御立腹をどうしようか、悩みながら一人で謝罪にいきました。ところが御立腹どころか「よくいらっしやいました、アクト旗は少しいたんでいたのでしょうか。あなたが故意に破ったわけではないから、心配はいりません。」と優しくお応えくださったのが、当時クラブの会長、Eクラブメンバーでもある今福修吾さんでした。戦々恐々の心情でしたので、とても救われました。相手を思う心使いに心を打たれました。それからというものローターアクト時代、色々なイベントに参加する機会も増え、多くの経験、交流をえました。2730地区ばかりでなく他地区に参加する事も多くとても楽しく貴重な体験でした。

ローターアクト卒業後も交流があり、私の結婚披露宴を、東会長、今福氏の両司会で行ってもらい、地区外を含むローターアクトの OB、OG メンバーとその家族のみの披露宴、を企画し盛り上げていただきとても感謝しています。

現在ではローターアクト OG の妻と1歳半になる息子の3人家族で、とても幸せです。もしあの時、川内ローターアクトのアクト旗が破れなかったら、謝罪に行かなかったら、ローターアクトに入会していなかったら、今とは違う人生だったのでしょうか。出会いのきっかけをくれたローターアクト、支援していただいたロータリークラブに、多くの友人に感謝です。

自分がロータリアンとなった今後も更なる自己育成に励み、子を持つ親としても明るい世界を目指し、E クラブメンバーとして恥じることはないように努めていきたいと思えます。